

表1

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子中学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・個に応じた、きめ細やかな指導の充実(指導法の工夫改善)
- ・教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実及び学習環境・授業のユニバーサル化への取り組み
- ・学校図書館教育の充実と、生徒の読書活動の推進

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

指導法の工夫・改善を自校だけではなく、市内や県内の他校との連携や保護者の協力の下に推進
地域教育力の活用＝必要に応じて、地域の方をボランティアや講師として招聘

表1

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>① 「確かな学力」を育むための個に応じた指導の充実</p>	<p>①指導法の工夫改善を図り、効果的な少人数・習熟度別・チームティーチングの実践・検証 ②学習支援情報(個人学習カルテ)の作成と、教科相談等の支援活動の実施 ③校内研究と連動した研修の実施と授業改善</p>	<p>①指導法の工夫改善を図り、効果的な少人数・習熟度別・チームティーチング及び少人数学級の実践・検証 ②学習支援情報(個人学習カルテ)の作成と、教科相談等の支援活動の実施 ③校内研究と連動し、「生徒一人ひとり」に視点をあてた研修の実施と授業改善</p>	<p>①指導法の工夫改善を図り、効果的な少人数・習熟度別・TT及び少人数学級の実践・検証 ②学習支援情報(個人学習カルテ)の作成と、教科相談等の支援活動の実施 ③校内研究と連動し、「生徒一人ひとり」に視点をあてた研修の実施と授業改善</p>
	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p>
	<p>成果と課題 ①数学、英語を中心に単元や授業のねらいとの関連で、少人数習熟度別授業やチームティーチングを実施した。 ②個人学習カルテを作成し、保護者面談や教科相談に活用した。 ③横浜国立大学の両角准教授をスーパーバイザーとして、年間2回の公開授業と11月の授業研究(3クラス)を中心に校内研究を進めた。</p>	<p>成果と課題 ①数学、英語を中心に単元や授業のねらいとの関連で、少人数習熟度別授業やチームティーチングを実施した。 ②個人学習カルテを作成し、保護者面談や教科相談に活用した。 ③横浜国立大学の両角准教授や有元教授をスーパーバイザーとして、年間2回の公開授業と11月の授業研究(3クラス)を中心に校内研究を進めた。また、教育研究所の先生方とも連携して生徒一人ひとりが生きる学級づくりについて研修を進めた。</p>	<p>成果と課題 ①英語を中心に、単元や授業のねらいとの関連で、少人数習熟度別授業やTTを実施した。 ②個人学習カルテを作成し、保護者面談や教科相談に活用した。 ③校内研究と連動し、各教科で教科デザインを作成した、また学びのプランを作成し、年間2回の公開授業と11月の授業研究(3クラス)を中心に校内研究を進めた。</p>

表1

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 「読解力」向上の取り組みの推進	①言語活動の充実を重視した各教科での年間指導計画の作成 ②社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力の育成(生徒の自己評価) ・言語、シンボル、テキストを活用する能力 ・知識や情報を活用する能力 ・テクノロジーを活用する能力	①言語活動の充実を重視した各教科での年間指導計画の作成 ②社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力の育成(生徒の自己評価) ・言語、シンボル、テキストを活用する能力 ・知識や情報を活用する能力 ・テクノロジーを活用する能力 ③6月・1月に行う生徒の自己評価の肯定的な自己評価を5ポイント程度上げる	①・②は継続 ③6月・1月に行う生徒の自己評価の肯定的な自己評価を5ポイント程度上げる
	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①校内研究のテーマと関連付けて年間指導計画を作成した。 ②6月と1月の年間2回全生徒に自己評価をしてもらい、過半数を超える肯定的な自己評価を得た。	成果と課題 ①校内研究のテーマと関連付けて年間指導計画を作成した。 ②6月と1月の年間2回全生徒に自己評価をしてもらい、過半数を超える肯定的な自己評価を得た。 ③2年「ある程度ついている」というポイントにおいては、課題が残った。	成果と課題 ①校内研究のテーマと関連付けて、年間指導計画を作成した。 ②10月と1月の年間2回、全校生徒に自己評価をしてもらい、過半数を超える肯定的な自己評価を得た。 ③各教科、前期と比較して後期には、ポイントがおおむね上昇した。

表1

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 読書活動の推進	①学習情報センターとしての学校図書館機能の充実 ②朝読書を中心とした読書活動の充実 ③市立図書館との連携	①学習情報センターとしての学校図書館機能の充実 ②朝読書を中心とした読書活動の充実 ③市立図書館との連携	①学習情報センターとしての学校図書館機能の充実 ②朝読書を中心とした読書活動の充実 ③市立図書館との連携
	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①総合的な学習の時間を中心に活用した。 ②年間2回の読書週間で「朝読書」を行い、校長・教頭も含めて「読み聞かせ」を行った。 ③市立図書館の図書の借り受けを中心に連携を図った。	成果と課題 ①総合的な学習の時間を中心に特別活動の時間にも行った。 ②年2回の読書週間で「朝読書」を行い、校長・教頭・教務・学年の先生方が「読み聞かせ」等を行った。 ③市立図書館の図書の借り受けを中心に連携を図った。	成果と課題 ①総合的な学習の時間を中心に、特別活動の時間にも行った。 ②年2回の読書週間で「朝読書」を行うことができた一方、「読み聞かせ」の実践はできなかった。 ③市立図書館の図書の借り受けを中心に、連携を図った。

表1

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>④ 校内支援体制を活用した支援教育の推進</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実 ②学習支援員、スクールカウンセラー、心の教室相談員、ボランティア等の人的リソースを有効に活用した、支援教室等、個に応じた支援の実施 ③学習環境・授業のユニバーサル化を図るための、スクールスタンダードの検討</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実 ②学習支援員、スクールカウンセラー、心の教室相談員、ボランティア等の人的リソースを有効に活用した、支援教室等、個に応じた支援の実施 ③学習環境・授業のユニバーサル化を図るための、スクールスタンダードの検証と定着</p>	<p>①・②は継続 ③学習環境・授業のユニバーサル化を図るための、スクールスタンダードの定着 ④特別支援学級と個別支援・支援教室での協同学習の実施</p>
	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった</p>	<p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった ④達成した</p>
	<p>成果と課題 ①二人の教育相談コーディネーターを中心に、毎月の校内支援委員会及び関係諸団体とのネットワーク会議等機能した。 ②取り組みの成果として不登校生徒数の減少(18名から14名)をみた。 ③教室前面の掲示板にカーテンを設置し、教室環境の構造化を図ったが、まだ緒に付いたばかりである。</p>	<p>成果と課題 ①教育相談コーディネーターを中心に全職員による支援体制を築いたので、昨年度以上に生徒理解が進み、成果が上がった。 ②支援教室の生徒利用の生徒が4名になり、それぞれが目的をもった生活ができるようになったことが成果である。 ③去年の継続に留まった。</p>	<p>成果と課題 ①教育相談コーディネーターを中心に、巡回チーム等による支援体制を築いたので、昨年度以上に生徒理解が進んだ。 ②支援教室の生徒利用の生徒が0名になり、それぞれが目的をもった生活ができるようになったことが成果である。 ③去年の継続に留まった。 ④協同学習により生徒の活動場所ができ、登校意欲につながり成果を上げた。</p>

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子中学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間の充実
健康教育、体力づくり、食育の推進

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

道徳、特別活動、総合的な学習の時間の授業を保護者・地域の方の協力を得て実施
保護者・地域・関係機関との連携による健康教育・体力づくり・食育の推進

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>行動プラン</p> <p>① 基本的な生活習慣の育成</p>	<p>①保護者等と連携した、生徒の基本的な生活習慣の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝食を必ずとる(80%以上) ・「孤食率」の低下を呼びかける(35%未満) ・家庭でルールをつくり、子どもに家族の一員としての自覚を促す <p>②学校からの多様な手段による情報発信と、保護者・地域との密な連携</p> <p>(評価)</p> <p>①達成できなかった ②達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①朝食は全校生徒の9割以上がほぼ毎日取っているが、他は半数以下であった。</p> <p>②学校便り、学年便り、学級通信に加え、校長通信を月2回程度発行し、ホームページにも掲載した。</p>	<p>①保護者等と連携した、生徒の基本的な生活習慣の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝食を必ずとる(85%以上) ・「孤食率」の低下を呼びかける(30%未満) ・家庭でルールをつくり、子どもに家族の一員としての自覚を促す <p>②学校からの多様な手段による情報発信と、保護者・地域との密な連携</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①保護者と連携して基本的な生活習慣の定着をめざしたが、食育については不十分であった。</p> <p>②学校だより、ホームページ等で連携がとれた。</p>	<p>①保護者等と連携した、生徒の基本的な生活習慣の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝食を必ずとる。(90%以上) ・「孤食率」の低下を呼びかける。(25%未満) ・家庭でルールをつくり、子どもに家族の一員としての自覚を促す。 <p>②は継続</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①保護者と連携して、基本的な生活習慣の定着をめざしたが、食育についての取り組みは不十分であった。</p> <p>②学校だより、ホームページ等で連携がとれた。</p>
<p>行動プラン</p> <p>② 豊かな心を育む道徳教育の推進</p>	<p>①道徳の時間における指導と、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育との連動</p> <p>②全校道徳等、道徳の時間の新たな手法についての検討(全校道徳年間3回以上実施)</p> <p>③地域人材活用の授業実践(年間2回以上)</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①学習情報で連携を図っている。今後、一覧表を作成する。</p> <p>②年間3回の全校道徳を実施した。</p> <p>③全校道徳で地域人材を活用した。</p>	<p>①道徳の時間における指導と、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育との連動</p> <p>②全校道徳等、道徳の時間の新たな手法についての検討(全校道徳年間4回以上実施)</p> <p>③地域人材活用の授業実践(年間3回以上)</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①学習情報で連携を図っている。今後、一覧表を作成する。</p> <p>②年間3回の全校道徳を実施した。</p> <p>③全校道徳で地域人材を活用した。</p>	<p>①道徳の時間における指導と、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育との連動</p> <p>②全校道徳等、道徳の時間の新たな手法についての検討(全校道徳年間5回以上実施)</p> <p>③地域人材活用の授業実践(年間4回以上)</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①学習情報で連携を図っている。今後、一覧表を作成する。</p> <p>②全校道徳で教材及び内容を工夫した。</p> <p>③全校道徳や学年道徳で、地域人材を活用した。</p>

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 豊かな体験活動の 推進	①キャリア教育・市民性教育を柱として、総合的な学習の時間や特別活動を中心に、地域に根ざした体験活動の実施 ・現代的な教育課題 ・学校行事の縦割りブロック活動 ・自然体験活動 ・職業体験 ・修学旅行	①キャリア教育・市民性教育を柱として、総合的な学習の時間や特別活動を中心に、地域に根ざした体験活動の実施 ・現代的な教育課題 ・学校行事の縦割りブロック活動 ・自然体験活動 ・職業体験 ・修学旅行 ②3年生で3年間の市民性教育の集大成としての発表会を保護者・地域に公開して行う	①は継続 ②3年生で3年間の市民性教育の集大成としての発表会を保護者・地域に公開して行う
	(評価) ①達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①次年度3年生が、市への提言を行う予定。	成果と課題 ①3年生が修学旅行を通じて学んできたことを「どのようにして逗子市に活かせるのか」ということについて市への提言を行った。 ②市長にも来校していただき、多数の来校者の中、発表会を実施できた。	成果と課題 ①修学旅行を通して、学んできたことを発表する中で、逗子市との違いや奈良・京都の文化について学習した。 ②保護者・地域に公開し、多数の来校者の中、発表会を実施できた。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
④ 食育の体系化と 体力づくり・健康教育 の推進	①体力づくり、健康教育を授業や行事の中で実践、充実 ・体育授業のティームティーチング(教員3名による指導) ・ラジオ体操 ・マラソン大会 ②地域やPTAと連携した食育の推進	①体力づくり、健康教育を授業や行事の中で実践、充実 ・体育授業のティームティーチング(教員3名による指導) ・ラジオ体操 ・マラソン大会 ②地域やPTAと連携した食育の推進 ③チャレンジデイの取り組みを学校として企画し、自主参加を呼びかける	①・②は継続 ③チャレンジデイの取り組みを学校として企画し、自主参加を呼びかける
	(評価) ①達成した ②達成できなかった 成果と課題 ①三つの具体例をすべて取り組んだ。 ②1・2年生の技術家庭科で食育の授業を行ったが、PTAを巻き込むには至っていない。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した 成果と課題 ①体育科の人数を確保する必要がある。 ②1・2年生の技術・家庭科で食育の授業を行った。「餅つき」を通して地域・PTAの協力を得て推進できた。支援学級では、畑を作るなどの活動を通して、充実させることができた。 ③長縄に学校全体で取り組んだが、家庭への啓蒙活動を充実させる必要がある。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した 成果と課題 ①体育科の人数を確保する必要がある。 ②3学年では、2年次に調べ学習を行い、奈良・京都の食文化について学習した。支援学級では、引き続き畑を作るなどの活動を通して、充実させることができた。 ③来年度は、参加方法を変更して行う。(エントリーカードを各クラスに配布し、その場で記入してもらう)

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子中学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

1 多様な教育的課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- ・安全・安心な学校づくりと防災教育・いのちの教育の推進
- ・キャリア教育・市民性教育の推進
- ・環境教育・福祉教育・国際教育・情報教育(ICT)の充実

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

地域で行われている各種行事に関する、教職員・生徒への積極的な紹介及び参加の促進
体験活動を重視した取り組みの実施

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 学校安全の推進	①CAP(子どもへの暴力防止プログラム)等 を活用した不審者対策、安全教育の充実と 逗子中学校防災計画の見直し ②大地震・津波を想定した避難訓練・災害 時伝言ダイヤル訓練等の充実 ③地域と連携した防災訓練における、中 学生が主体的に活動する場面設定	①逗子警察署生活安全課等を活用した 不審者対策、安全教育の充実と逗子中 学校防災計画の見直し ②大地震・津波を想定した避難訓練・災 害時伝言ダイヤル訓練等の充実 ③地域と連携した防災訓練における、中 学生が主体的に活動する場面設定	①逗子警察署生活安全課等を活用した 不審者対策、安全教育の充実と逗子中 学校防災計画の見直し ②・③は継続
	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①CAP(子どもへの暴力防止プログラム)以 外にも県警の安全教育を実施し、本校の防 災計画も見直した。 ②年間3回の避難訓練、年間3回の災害時 伝言ダイヤル訓練を実施した。 ③池子小学校で行った「避難所運営訓練」 に中学生がボランティアとして参加した。	成果と課題 ①不審者対策の講演会などを実施し、安 全教育を徹底した。また、防災についても 避難訓練等徹底した。 ②年3回の避難訓練や災害伝言ダイヤル 訓練を実施し成果をあげた。 ③逗子中で実施された避難所訓練に参 加し成果をあげた。	成果と課題 ①不審者対策の講演会などを実施し、 安全教育を徹底した。また、防災につい ても避難訓練等徹底した。 ②年3回の避難訓練や災害伝言ダイヤ ル訓練を実施し成果をあげた。 ③池子小学校区避難所運営訓練に参 加し、成果をあげた。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 問題行動等への対応の推進	<p>①スクールカウンセラー、うるおいフレンド(心の教室相談員)、学習支援員の効果的な活用と、継続的な校内相談体制の再検討</p> <p>②いじめ・不登校への予防的な相談の実施と研究所等他機関との密な連携</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題 ①教育相談コーディネーターを中心に、人材の活用と情報の共有化を推進した。 ②研究所にお願いして「構成的グループエンカウンター」の手法による学級づくり、研究所スーパーバイザーによる研修会を実施した。</p>	<p>①スクールカウンセラー、うるおいフレンド(心の教室相談員)、学習支援員の効果的な活用と、継続的な校内相談体制の再検討</p> <p>②いじめ・不登校への予防的な相談の実施と研究所等他機関との密な連携</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題 ①教育相談コーディネーターを中心に人材の活用と情報の共有化を推進し成果をあげた。 ②研究所や支援教室の利用等で、全職員の共通理解のもとで成果をあげた。今後もこの態勢で実施していきたい。</p>	<p>①スクールカウンセラー、うるおいフレンド(心の教室相談員)、学習支援員の効果的な活用と、継続的な校内相談体制の再検討</p> <p>②いじめ・不登校への予防的な相談の実施と研究所等他機関との密な連携</p> <p>③生徒指導連絡会の週1回開催</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①教育相談コーディネーターを中心に、人材の活用と情報の共有化を推進し、成果をあげた。 ②教育研究所や支援教室の利用等で、全職員の共通理解のもとで成果をあげた。教育相談コーディネーターが相談に加わった。 ③実施できた。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	<p>①小・中学校間で、教員の授業交流の実施</p> <p>②小・中学校、9年間を見通した「学び方」のカリキュラム作りの検討</p> <p>③湘南保育園との連携の模索(職業体験)</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①池子小学校で体育教員が、逗子小学校で英語教員が授業を行った。 ②モデルを提示した。 ③湘南保育園をはじめ、沼間愛児園、桜山保育園、双葉保育園、聖マリア幼稚園で職業体験を実施した。</p>	<p>①小・中学校間で、教員の授業交流の実施</p> <p>②小・中学校、9年間を見通した「学び方」のカリキュラム作りの実施</p> <p>③湘南保育園との連携</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①池子小で体育教員、逗子小で英語教員が授業を行った。 ②モデルを提示した。 ③湘南保育園をはじめ、沼間愛児園、桜山保育園、双葉保育園で職業体験を引き続き実施した。</p>	<p>①は継続</p> <p>②小・中学校、9年間を見通した「学び方」のカリキュラムに基づいた実践</p> <p>③湘南保育園との連携の充実</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①英語教諭が逗子小と池子小で、それぞれ授業を行った。 ②モデルを提示した。 ③湘南保育園をはじめ、沼間愛児園、桜山保育園、双葉保育園で職場体験を引き続き実施した。また吹奏楽部・図書委員会や夏の講座などで逗子高校と連携を行った。</p>

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
④ 国際教育の推進	<p>①異文化を理解し、多文化と共生するために、地域人材の活用を図りながら、授業や行事を通じた、コミュニケーション能力の育成</p> <p>②IEA(国際教育指導助手)の効果的な活用による生徒のコミュニケーション能力の育成及び国際教育の実施</p>	<p>①異文化を理解し、多文化と共生するために、地域人材の活用を図りながら、授業や行事を通じた、コミュニケーション能力の育成</p> <p>②IEA(国際教育指導助手)の効果的な活用による生徒のコミュニケーション能力の育成及び国際教育の実施</p> <p>③市民性教育の一環として、修学旅行において、在住の外国人や観光客に住みやすさのインタビューをして、観光都市逗子のあり方を考える</p>	<p>①・②は継続</p> <p>③市民性教育の一環として、修学旅行において、在住の外国人や観光客に住みやすさのインタビューをして、観光都市逗子のあり方を考える</p>
	<p>(評価)</p> <p>①達成できなかった ②達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成できなかった ②達成した ③達成できなかった</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成できなかった ②達成した ③達成できなかった</p>
	<p>成果と課題</p> <p>①地域人材の活用まで及ばなかった。 ②IEA(国際教育指導助手)を活用し、「日本の学校、オーストラリアの学校」を紹介した。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①地域人材の活用まで及ばなかった。次年度からは、区内でのIEA(国際教育指導助手)の交流に取り組んでいきたい。 ②IEA(国際教育指導助手)を活用し、アメリカの地域や文化を紹介した。 ③修学旅行において、外国人とコミュニケーションをとるのは時間的にも難しい。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①前年度と同様に、地域人材の活用まで及ばなかった。 ②国際教育指導助手を活用し、アメリカの地域や文化を紹介した。 ③国際教育の理念の周知から、はじめなければならない。</p>

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>行動プラン</p> <p>⑤ キャリア教育の推進</p>	<p>①職業体験学習の実施等によりキャリア教育の推進</p> <p>②学校行事・生徒会活動の充実</p> <p>③キャリア教育・市民性教育のカリキュラムづくり</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①例年通り59箇所以上の事業所の協力で職業体験を実施した。</p> <p>②PTA及び学校支援地域本部の協力の下、取り組んだ。</p> <p>③取り組みの2年目ということで、カリキュラム作りを行った。</p>	<p>①職業体験学習の実施等によりキャリア教育の推進</p> <p>②学校行事・生徒会活動の充実</p> <p>③キャリア教育・市民性教育のカリキュラム完成</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①例年通り39箇所の事業所の協力で職業体験を実施した。</p> <p>②PTA及び学校支援地域本部の協力のもと、取り組んだ。</p> <p>③取り組みの3年目ということで、修学旅行の学習活動をもとに、逗子市への提言という形で発表することができた。</p>	<p>①・②は継続</p> <p>③キャリア教育・市民性教育のカリキュラムの実践と検証</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①事業所の協力を得て、45事業所の協力で職場体験を実施した。</p> <p>②PTA及び学校支援地域本部の協力の下、ディベートなどに取り組んだ。</p> <p>③修学旅行での学習成果を、逗子市への提言という形で発表できた。</p>
<p>行動プラン</p> <p>⑥ 福祉教育の推進</p>	<p>①福祉体験学習の実施による豊かな心の育成</p> <p>②市民性教育の一環として、社会福祉の理解を深め、地域と協働した生徒の社会性の伸長</p> <p>(評価)</p> <p>①達成できなかった ②達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①社会福祉協議会と連携して中学生にできるボランティアを模索したが、実現に至っていない。</p> <p>②市役所福祉部の協力の下、1年生を対象に講演会を実施した。</p>	<p>①福祉体験学習の実施による豊かな心の育成</p> <p>②市民性教育の一環として、社会福祉の理解を深め、地域と協働した生徒の社会性の伸長</p> <p>③地域ボランティアに積極的に参加するよう呼びかける</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①・②共に社会福祉協議会と連携し、3年生対象に福祉教育の授業を実施した。</p> <p>③田越川清掃活動、万引き防止キャンペーン等、新しい試みにも参加した。次年度も継続して行っていきたい。</p>	<p>①福祉体験学習の実施による豊かな心の育成</p> <p>②市民性教育の一環として、社会福祉の理解を深め、地域と協働した生徒の社会性の伸長</p> <p>③地域ボランティアに積極的に参加するよう呼びかける</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①・②共に社会福祉協議会と連携し、3学年を対象に福祉教育を実施した。来年度は、他学年にも実施してきたい。</p> <p>③逗子市民まつりや逗子サミット(携帯電話の使い方)などに参加した。次年度も継続して行ってきたい。</p>

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑦ 環境教育の推進	①生徒会活動を中心とした、ホタルの里づくりの推進 ②市民性教育の一環として、地域と協働した環境教育の実践	①生徒会活動を中心とした、ホタルの里づくりの推進 ②市民性教育の一環として、地域と協働した環境教育の実践 ③地域ボランティアに積極的に参加するよう呼びかける	①生徒会活動を中心とした、ホタルの里づくりの推進 ②市民性教育の一環として、地域と協働した環境教育の実践 ③地域ボランティアに積極的に参加するよう呼びかける
	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成できなかった ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①6月に本校裏の川で合計十数匹の蛍を確認した。 ②学校支援地域本部及び池子地区の住民と一緒に地域清掃を実施した。	成果と課題 ①初夏に天候が悪く、ホタルをあまり確認できなかった。餌のカワニナを飼育中だが、水槽に照明が欲しい。 ②昨年度の反省を受けて12月中に3月の日程を決めて、地域清掃の連絡を行った。また来年度は総務会の方針で、10月にも地域清掃を行う予定である。また、保健委員会を中心に芝生の育成を行った。 ③田越川の清掃活動など、新しい試みにも多く参加した。	成果と課題 ①ホタルの観察は、3回実施できた。餌のカワニナの育成やホタルの幼虫の捕獲にも取り組んだ。 ②10月は、地域との連携がうまくできなかったが、3月は地域との連携を取り、実施できた。 ③地域清掃を2回に増やした結果、ボランティア人数が増加した。

行動プラン

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑧ 情報教育の推進	①市民性教育の一環として、ICTを活用したプレゼンテーションを取り入れた授業を学年ごとに編成 ②ICTの「光と闇」に関する情報セキュリティについて、生徒・保護者の理解促進	①市民性教育の一環として、ICT(情報通信技術)を活用したプレゼンテーションを取り入れた授業を学年ごとに編成し、発達段階に応じた情報活用能力の育成 ②ICT(情報通信技術)の「光と闇」に関する情報セキュリティについて、生徒・保護者の理解促進	①市民性教育の一環として、ICT(情報通信技術)を活用したプレゼンテーションを取り入れた授業を学年ごとに編成し、発達段階に応じた情報活用能力の育成 ②は継続
	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①1年生はデジタルカメラ、2年生はオーバーヘッドカメラ、3年生はパワーポイントを活用して発表会を実施した。 ②県警の協力の下、7月に全校生徒を対象として携帯電話の危険性について講演会を実施した。	成果と課題 ①1年生は実物投影機、2・3年生はパワーポイントを活用して行事などの発表会を実施した。特に3年生については、Z-Learningの視点より市長や教育委員会の協力の下、情報活用能力の育成に努めた。 ②県警の協力の下、7月に全校生徒を対象として携帯電話の危険性について講演会を実施した。	成果と課題 ①1年生は実物投影機、2・3年生はパワーポイントを活用して、行事などの発表会を実施した。 ②神奈川県警察の協力の下、7月に全校生徒を対象として、携帯電話の危険性について講演会を実施した。

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子中学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- ・「逗子中学校支援地域本部」を基盤とした保護者・地域との協働の推進
- ・アクションにつながる学校評価による「信頼される学校づくり」

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

学校支援地域本部との協働及び学校関係者評価により実施

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	①毎日を「学校公開日」と設定し、家庭・地域との連携を図る ②授業を保護者・地域に授業公開する機会を年間5回以上設定 ③情報を学校便り、ホームページ、校長通信等で積極的に発信し、「信頼される学校づくり」の推進	①毎日を「学校公開日」と設定し、家庭・地域との連携を図る ②授業を保護者・地域に授業公開する機会を年間5回以上設定 ③情報を学校便り、ホームページ、校長通信等で積極的に発信し、「信頼される学校づくり」の推進 ④池子地区総務会にも出向き、情報発信していく	①・②・③は継続 ④池子区総務会にも出向き、情報発信していく
	(評価) ①達成できなかった ②達成した ③達成した 成果と課題 ①毎日を学校公開日としたが、実際には参観者はいなかった。 ②年間5回の授業公開を実施した。 ③事例として挙げたものすべてに取り組んだ。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した 成果と課題 ①PTA役員を中心に授業見学が行われた。 ②年間5回の授業公開を行った。 ③事例として挙げたもの全てに取り組んだ。 ④学校長が参加した。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した 成果と課題 ①2年を中心に、授業や行事練習の参観が行われ、学年の雰囲気づくりに効果があった。 ②早めにお知らせを出し、参観しやすくした。 ③ホームページは、移行のため調整中である。学校便りは予定通り発行したが、原稿担当者が締切前に出すことが課題である。 ④学校長が参加した。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 地域教育力の活用	①地域の担い手としての生徒の育成と、地域行事への積極的な参加(参加者数50人以上) ②学校関係者評価委員・学校評議員・地域教育協議会・PTAとの連携の強化・学校支援地域本部における地域コーディネーターの目的別複数配置・小、中、高連携の模索	①地域の担い手としての生徒の育成と、地域行事への積極的な参加(参加者数100人以上) ②学校関係者評価委員・学校評議員・地域教育協議会・PTAとの連携の強化 ・学校支援地域本部における地域コーディネーターを活用した人材発掘 ・小・中・高連携の充実	①地域の担い手としての生徒の育成と、地域行事への積極的な参加(参加者数150人以上) ②学校関係者評価委員・学校評議員・地域教育協議会・PTAとの連携の強化 ・学校支援地域本部における地域コーディネーターの目的別複数配置 ・小、中、高連携の推進
	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①避難時運営訓練や地域の運動会、せせらぎ祭りに延べ100人以上が参加した。 ②事例として挙げたものすべてに取り組んだ。	成果と課題 ①市民まつりや川清掃、万引き防止キャンペーン、池子小学童への劇上演などに延べ100人以上が参加した。 ②芝生ボランティア、花壇整備、全校道徳への支援をいただき新たな人材を発掘した。	成果と課題 ①池子小学校区避難所運営訓練や地域の運動会、せせらぎ祭りに100人以上が参加した。 ②花壇整備、中高生ディベート大会、文化祭での餅つき、マラソン大会、平和イベントへの支援をいただいた。
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	①年度の重点を明確にして評価のポイントを絞り、アクションにつながる学校評価を実施する	①年度の重点を明確にして評価のポイントを絞り、アクションにつながる学校評価を実施する ②学校評価保護者回答集計を保護者に協力を求める等、情報共有し、改善策を検討していく	①は継続 ②学校評価保護者回答集計を保護者に協力を求める等、情報共有し、改善策を検討していく
	(評価) ①達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①年度の重点を校長通信でお知らせし、保護者へのアンケートも実施した。	成果と課題 ①年度の重点をお知らせし、保護者へのアンケートも実施した。 ②スキャナーによる集計が行えたので、保護者に回答集計作業の協力までは求めなかったが、学校だより等で全校配布	成果と課題 ①年度の重点をお知らせし、保護者や学校関係者へのアンケートも実施した。 ②集計結果は、学校だより等で全校配布した。課題については、関係する分掌で改善策を考え実施することができた。

学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立逗子中学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅲ 教員の指導力向上

○学校教育総合プランの項目

1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・校内研究の充実による授業力向上
- ・校内研修の充実

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

研修の機会と内容の充実

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 授業研究の充実	①学習評価の工夫による授業改善 ②授業研究の積極的実践(1人年2回以上)の実施 ③スーパーバイザー、横浜国立大学附属横浜中学校を活用した研究の充実保護者・学校関係者による授業評価の実施 ④教科会を中心とした組織的授業研究	①学習状況調査等、客観的な評価を学習評価の工夫による授業改善にいかしていく ②授業研究の積極的実践(1人年2回以上)の実施 ③スーパーバイザー、横浜国立大学附属横浜中学校を活用した研究の充実保護者・学校関係者による授業評価の実施と保護者・学校関係者による授業評価の実施 ④教科会を中心とした組織的授業研究	①学習状況調査等、客観的な評価を学習評価の工夫による授業改善にいかしていく ②・③・④は継続
	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した 成果と課題 ①校内研究の中で取り組んだ。 ②一人年間2回の研究テーマに沿った授業公開を実施した。 ③すべて取り組んだ。 ④週1回の教科会を時間割に組み込んで取り組んだ。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した 成果と課題 ①校内研究の中で取り組むとともに、教科会の話題として盛り込んだ。 ②一人年間2回の研究テーマに沿った授業公開を実施した。 ③すべて取り組んだ。 ④週1回の教科会を時間割に組み込んで取り組んだ。	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した ④達成した 成果と課題 ①校内研究の中で取り組んだ、次年度は指導と評価の一体を目指し取り組んでいきたい。 ②一人年間2回の研究テーマに沿った授業公開を実施した。 ③校内研究の中で実施した。 ④教科情報を見直すとともに、「まなびのプラン」を新たに作成した。

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 授業評価の活用 行動プラン	①保護者・関係者による授業評価の実施と授業改善 ②「生徒による授業評価」と「教員相互による授業評価」の実施と、課題を明確にした授業改善 (評価) ①達成した ②達成した 成果と課題 ①授業公開日に実施した。 ②校内研究と関連させて、すべて取り組んだ。	①保護者・関係者による授業評価の実施と授業改善 ②「生徒による授業評価」と「教員相互による授業評価」の実施と、課題を明確にした授業改善 ③教員相互による授業評価用紙の検討 (評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった 成果と課題 ①授業公開日に実施した。 ②校内研究と関連させて、すべて取り組んだ。 ③今後作成していく。	①・②は継続 ③教員相互による授業評価用紙の検討 ④教科会としての授業評価用紙の活用を図る (評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった ④達成できなかった 成果と課題 ①授業公開日に実施した。 ②校内研究に関連させ取り組んだ。 ③今後作成していく。 ④今後作成していく。
③ 研修事業の充実 行動プラン	①計画的な校内研修会を通じた人材育成 ②校内の人材育成(OJT)の取り組み強化・メンター制、BS制 (評価) ①達成した ②達成した 成果と課題 ①1月に「コミュニケーション能力の向上」を目的に研修会を実施した。 ②教員個々との面接を通して、メンター及びBS(Brother and Sister)を確認するとともに、メンタリングシートを対象者に配付した。	①計画的な校内研修会を通じた人材育成 ②校内の人材育成(OJT)の取り組み強化・メンター制、BS(Brother and Sister)制 (評価) ①達成した ②達成した ③達成できなかった 成果と課題 ①授業指導における、支援のあり方にも目を向け、実践できた。 ②一定の成果はあったが、次年度は時間を確保することも必要である。 ③勤務時間外の設定は、保護者対応等があり、難しいことがわかった。	①・②は継続 ③自主参加研修の企画運営 (評価) ①達成した ②達成した ③達成した 成果と課題 ①授業指導における、支援のあり方にも目を向け、実践できた。 ②一定の成果はあったが、次年度は時間を確保することも必要である。 ③夏期および冬期休業期間中に設定し、年2回実施できた。